



確認事項

各部の名称

仕様

各部の操作

保管について

# POWER EXPORTER 9000

外部給電器

オーナーズマニュアル

## 安全に関する表示

---

「使用者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。



**危険**

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの



**警告**

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの



**注意**

指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

## その他の表示

---

下記の表示を使って記載しています。

### アドバイス

製品が故障や破損することを防ぐためのアドバイスや、環境への配慮のために守っていただきたいこと。

本機の点検・修理については、必ず弊社が指定する販売店にご相談ください。

本製品は、一般社団法人電動車両用電力供給システム協議会が発行する電動自動車用充放電システムガイドライン(V2L DC版)に適合しています。

他社製の給電対象車両とも接続・通信の互換性はありますが、供給できる電力、給電可能時間、その他機能については、車の仕様により異なります。

他社製の車両との接続に関しては、本機、ならびに各車両の取扱説明書をご確認ください。

# 目次

確認事項 .....	2
各部の名称 .....	3
仕様 .....	6
外部給電とは .....	6
給電状態の確認 .....	10
各部の操作 .....	14
外部給電のしかた .....	14
停止のしかた .....	18
保管について .....	21

給電を始める前に下記の項目を確認してください。

## ■確認項目

- 給電コネクタ、給電ケーブルが破損していないか？  
▶ 破損している場合は、指定の Honda 販売店にご相談ください。
- 給電コネクタに異物が入っていないか？  
▶ 給電コネクタに異物が入っているときは、指定の Honda 販売店にご相談ください。
- 給電コネクタや給電ケーブルを水で濡らさないか？  
▶ 水の近くや濡れた手で本機の使用をしないでください。
- 給電コネクタは直接車両に接続されているか？  
▶ 延長コード等は使用しないでください。

## ※確認事項



## 警告

**以下のことを守らない場合、感電や火災の原因になり、重大な傷害や死亡に至るおそれがあります。**

- 落雷のおそれがあるときは給電を行わない
- 雨の中や水のかかる場所で、本機を使用しない
- 濡れた手で本機を使用しない
- 給電コネクタや給電ケーブルが破損している場合は使用しない

**損傷や改造された本機を使用することは、感電や火災の原因となり、重大な傷害や死亡に至るおそれがあります。**

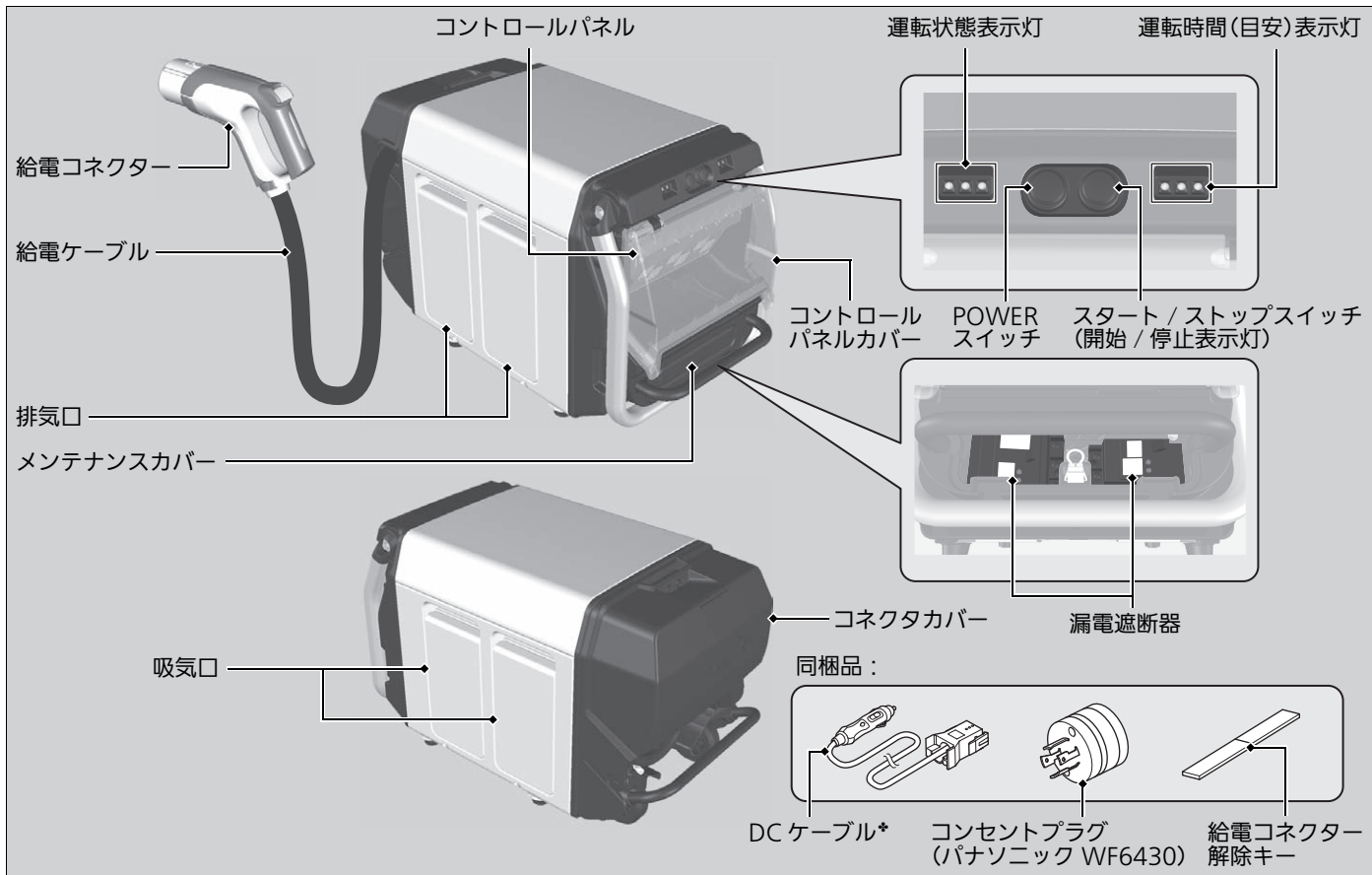
決して分解や改造をしないでください。もし、本機に損傷があるときは、使用を中止し、指定の Honda 販売店に相談をしてください。

**電気会社からの電気配線や屋内配線には絶対接続しない。**

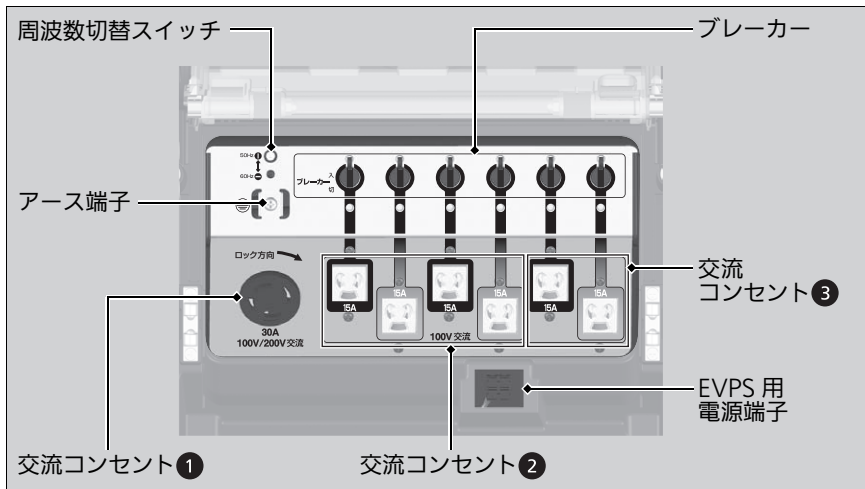
本機や接続の電気機器を故障させたり、火災あるいは人身事故の原因になります。

適切な指示、説明なしでは絶対に本機を運転操作させないでください。また、お子様は操作させないでください。

# 各部の名称



## ■コントロールパネル



## ■交流コンセント

交流コンセント	取り出し電気	使用可能プラグ例 (アース付きプラグ)
①	100V 最大 30A	パナソニック WF6430 (同梱部品)
	200V 最大 30A	
②	100V 最大 15A <sup>※1</sup>	—
③	100V 最大 15A <sup>※1</sup>	—

※1 : コンセント1つあたりの上限

## ※コントロールパネル

### アドバイス

交流コンセント①と交流コンセント②の消費電力が合わせて6,000W(VA)を超えないように使用してください。

交流コンセント①から200V電源を30Aまで取り出すときは、交流コンセント②からは電気を取り出ささないでください。

プラグ側の配線作業には専門の知識が必要ですので、配線作業は専門の電気事業者にご相談ください。

## ■ブレーカー

各ブレーカーの真下のコンセントが 15A 以上通電されると作動し、回路を遮断します。再度通電する際は、レバーを上げてください。

## ■周波数切替スイッチ

出力周波数を切り替えます。

☞ 周波数の切り替え P.15

## ■アース端子

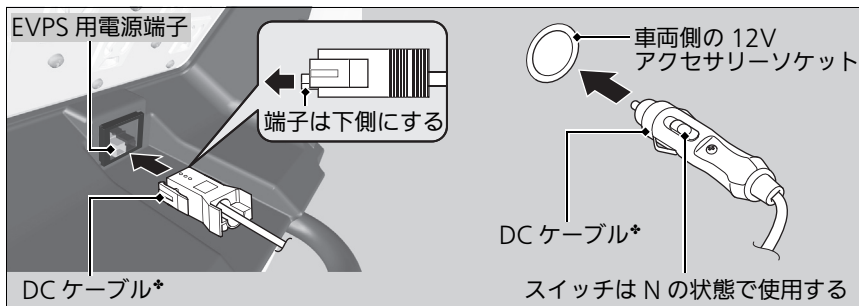
アース接続機器を使用する際は、アース線を接続します。

☞ アースの接続 P.15

## ■EVPS 用電源端子

本機と接続する車両によっては、電気を取り出せないことがあります。

▶ DCケーブル\*を本機のEVPS用電源端子と車両側の12VアクセサリースOCKETに接続することで、電気を取り出せます。



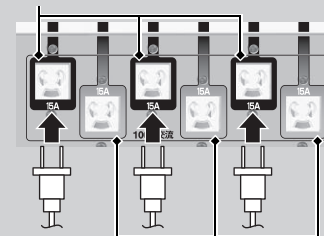
❖：タイプやオプションなどにより、装備が異なります。

## ☒コントロールパネル

3 つまでの交流コンセント②、③を同時に使用するときには、本機の負荷を分散するため、なるべく黒色枠のコンセント同士、または灰色枠のコンセント同士で使用してください。4 つめ以降の交流コンセントを使う場合は、好みの場所からお使いください。

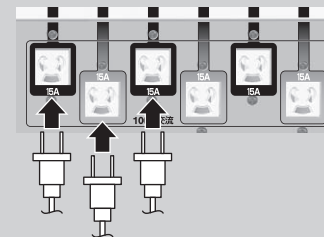
推奨する使いかた：

黒色枠



灰色枠

推奨しない使いかた：



## 外部給電とは

本機を車両につなぐことで、電気機器へ電気を供給することができます。

### ■仕様

定格出力	9,000W(VA)
定格出力電圧	AC100V/200V※1
周波数(切り替え可能)	50/60Hz

※1 : 200V の定格出力は、6,000W(VA)

モーター等の起動電流の多い製品は種類によって使用できない場合があります。  
詳しくは、指定の Honda 販売店に相談してください。

安定器の付いた放電タイプのランプ(水銀灯、メタルハライドランプなど)を消灯した場合、再点灯はランプが冷えるまでまってから行ってください。本機や使用中の電気機器に不具合が発生するおそれがあります。  
使用する電気機器の負荷によっては本機とのマッチング上、不具合が発生することがあります。指定の Honda 販売店に相談してください。

### 外部給電とは

#### ⚠ 注意

**ペースメーカー(植込み型心臓ペースメーカーおよび除細動機能なし植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータ)および ICD 装着のお客様は、給電の操作はご自身で行わないでください。**

給電時は、車両、本機、給電ケーブルに近づかないでください。ペースメーカーおよび ICD の動作に影響を与えるおそれがあります。

本機の使用に際しては法律や規則がありますので、労働安全衛生規則、消防法、電気事業法、ご使用場所の各地方自治体の条例などに従ってください。

医療用電気機器を使用するときは、医療機器メーカー・医師・病院等に事前に相談してください。

精密機器を使用するときは、他の電気機器の干渉がないことを確認してください。

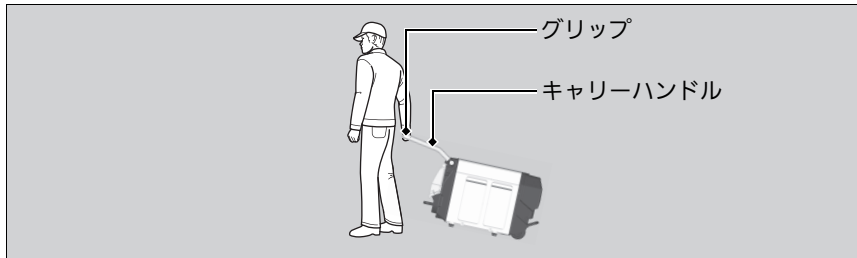
本機は複数台つなげて使用しないでください。



## 本機の運搬

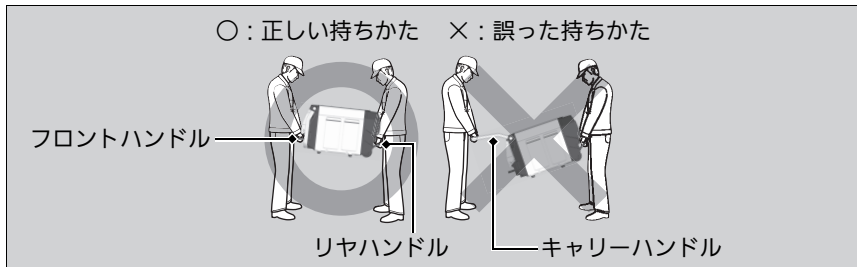
### ■ キャリーハンドル

本機を移動するときに引き上げて使用します。使用しないときは、キャリーハンドルを下げてください。



### ■ フロント/リヤハンドル

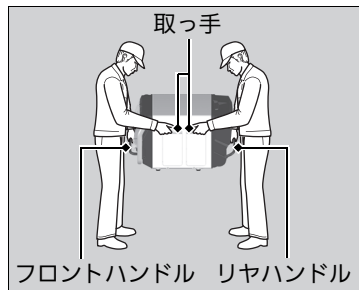
本機を持ち上げるときは、フロントハンドルとリヤハンドルを持ってください。



### ※ 本機の運搬

本機が破損する恐れがあるため、下記の取扱いはしないでください。

- キャリーハンドルを持って本機を持ち上げること
- 凸凹のある路面または、石や砂利のある路面で、キャリーハンドルを使って運搬すること
- 本機の上に荷物などを載せること



### ■車両で運搬するときは

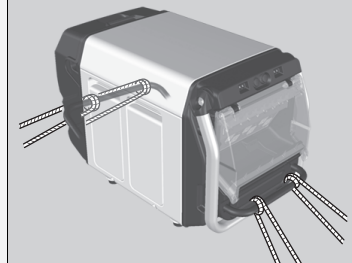
1. フロントハンドル(リアハンドル)と取っ手を持ち、腰の高さまで本機を持ち上げる。
2. 本機の天面を、車両の外側に傾けながら積載スペースにゆっくりと置く。

### ☒車両で運搬するときは

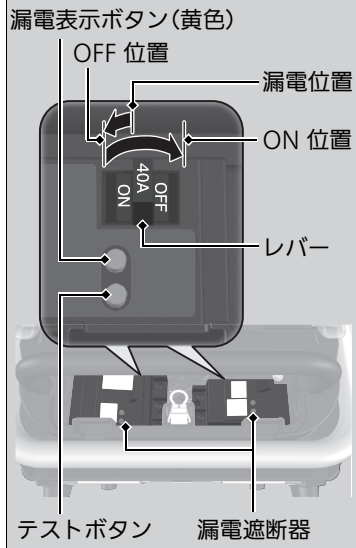
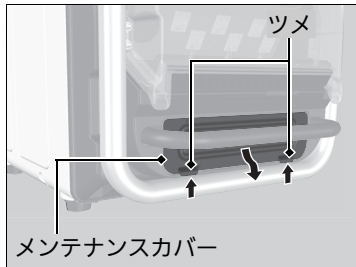
車両に本機を載せるときは2人で持ち上げるようにしてください。

車両で運搬するときは、本機が動かないように固定してください。

### トラック等の固定例：



## 漏電遮断器



使用する電気機器等が漏電したとき、漏電遮断器が作動し、電気機器への給電が停止されます。

漏電遮断器は、ツメを上側に押しながらメンテナンスカバーを外して確認します。

漏電遮断器が作動したときは、レバーが ON と OFF の中間位置になり、漏電表示ボタン (黄色) が飛び出します。

通電するには、レバーを一度 OFF 位置にしてから ON 位置にします。

## 漏電遮断器

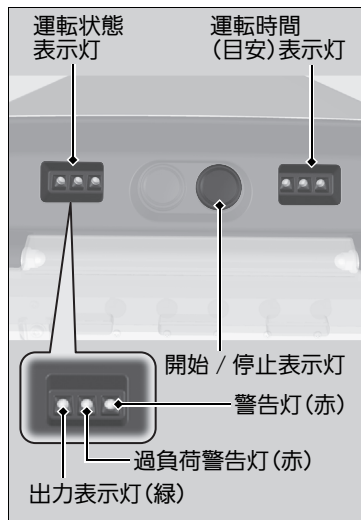
レバーが OFF 状態では給電することができません。

レバーを ON 位置に戻して通電させた後、再度漏電遮断器が作動する場合は、電気機器の絶縁不良が考えられます。電気機器を取り扱う電気店に相談してください。

どの電気機器に対しても動作する場合は、本機の絶縁不良が考えられますので、指定の Honda 販売店に相談してください。





月に 1 回テストボタンを押して、漏電遮断器が作動することを確認してください。

## 給電状態の確認






開始 / 停止表示灯、運転状態表示灯および運転時間(目安)表示灯で本機の運転状態の確認ができます。

## 運転状態表示灯

運転状態表示灯	状態	知識
 すべて消灯	出力停止中	出力停止状態では何も表示されません。
 出力表示灯が点灯	出力中	正常運転中に表示されます。
 出力表示灯、 過負荷警告灯が点灯	過負荷出力中 <sup>※1</sup>	使用上限を超える電気機器を使用したときに表示されます。 ▶各コンセントの取り出し電気の上限を確認してください。 <b>☑ コントロールパネル P.4</b>
 過負荷警告灯が点灯	過負荷停止	以下の状態のときに表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 使用上限を超える電気機器を使用したとき ▶各コンセントの取り出し電気の上限を確認してください。 <b>☑ コントロールパネル P.4</b></li> <li>• 本機の温度が異常に高くなったとき ▶吸気口、排気口が物でふさがっていたり、ゴミ詰まりがないか確認してください。</li> <li>• 給電コネクターが正しく接続されていないとき ▶給電コネクターの接続を確認し、再度給電開始操作をおこなってください。 <b>☑ 本機の接続 P.14</b></li> <li>• 使用している電気機器に異常があったとき ▶ただちに電気機器の使用を中止してください。</li> </ul>

※1 : モーターなどの大きな起動電力を必要とする電気機器を使用した場合、一時的に出力表示灯と過負荷警告灯が同時に点灯する場合があります。

運転状態表示灯	状態	知識
 <p data-bbox="145 296 352 319">過負荷警告灯が点滅</p>	<p data-bbox="405 199 555 221">車両異常停止</p>	<p data-bbox="603 199 1050 221">車両側の異常により、給電が停止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="635 229 1359 252">▶車両のシフトポジションが <b>[P]</b> に入っているか確認してください。</li> <li data-bbox="635 259 1485 319">▶一度、車両および本機の電源を切り、給電コネクタを接続しなおしてください。</li> </ul> <p data-bbox="603 327 1359 349">それでも再開できないときは指定の Honda 販売店にご相談ください。</p>
 <p data-bbox="177 408 317 431">警告灯が点灯</p>	<p data-bbox="405 358 507 380">本機故障</p>	<p data-bbox="603 358 1024 380">本機が故障している可能性があります。</p> <p data-bbox="603 388 1311 411">ただちに使用を中止し、指定の Honda 販売店にご相談ください。</p>
 <p data-bbox="177 520 317 543">警告灯が点滅</p>	<p data-bbox="405 459 507 481">車両故障</p>	<p data-bbox="603 459 1024 481">車両が故障している可能性があります。</p> <p data-bbox="603 489 1311 511">ただちに使用を中止し、指定の Honda 販売店にご相談ください。</p>

## 開始 / 停止表示灯



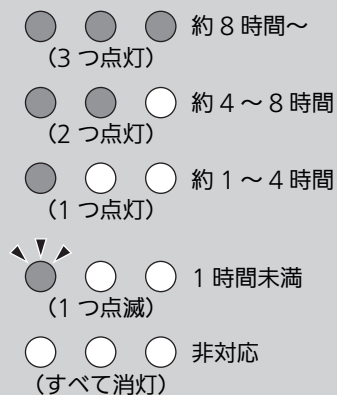
本機の給電状態を表します。

**電源 OFF**：消灯

**待機中**：点滅

**通電中**：点灯

## 運転時間(目安)表示灯



電気の供給時間(目安)を表します。

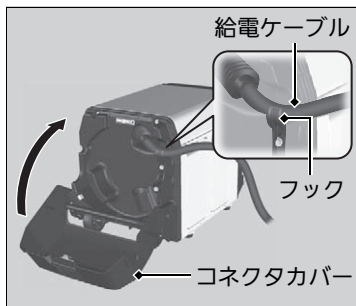
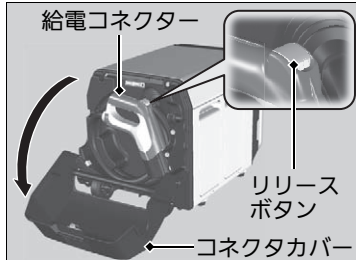
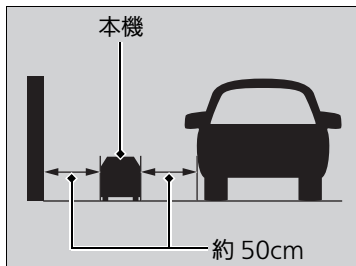
## ⚠️ 運転時間(目安)表示灯

電気の供給時間(目安)表示に対応していない車両は、表示灯がすべて消灯したままとなります。

運転時間(目安)表示灯が非対応の車両で給電する際には、給電残量が低下していないか車両側で確認してください。

## 外部給電のしかた

### ■ 本機の接続



1. 本機を車両の給電口の下に置く。  
▶ 本機の吸気口および排気口をふさがないように置いてください。
2. コネクタカバーを開ける。
3. リリースボタンを押しながら給電コネクターを取り外す。
4. 給電ケーブルをフックに掛ける。
5. コネクタカバーを閉める。

### ■ 本機の接続

#### プラグインハイブリッド車と接続したとき

#### ⚠ 警告

給電中は、車両のマフラーが熱くなっているため、近くで本機を使用していると火災の原因になり、重大な傷害や死亡に至るおそれがあります。

本機は、車両のマフラーの近くで使用しないでください。

#### ⚠ 警告

車庫、倉庫、トンネル内などや換気の悪い場所では使用しないでください。

換気の悪い場所は、酸素不足または有害な一酸化炭素がたまってガス中毒の危険があります。

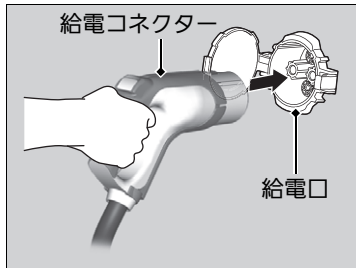
車両および本機を地面の平らな場所に設置してください。

本機を小石、土、砂利などの多い場所に置かないでください。

以下のときに、本機の保護のため、給電を停止することがあります。

- 高温となる場所で使用したとき
- 本機の吸気口及び排気口がふさがれているとき

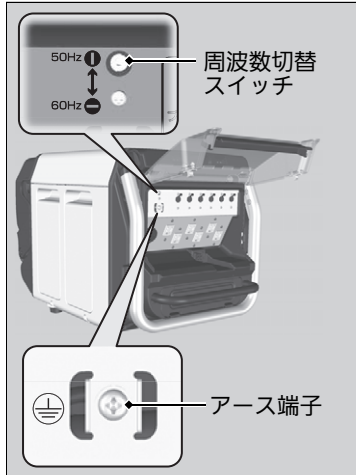




6. 給電コネクタを車両の給電口に確実に挿し込む。

▶車両によっては、DC ケーブル\* の接続も必要です。

■ EVPS 用電源端子 P.5



### ■周波数の切り替え

スイッチを操作して周波数を切り替えます。

● : 50Hz

● : 60Hz

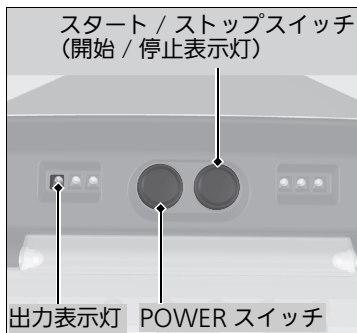
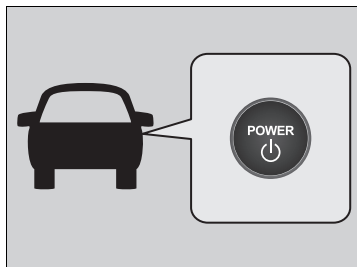
▶給電を開始する前に、接続する電気機器に合わせて周波数を切り替えてください。

### ■アースの接続

本機に接続する電気機器が大地にアースされている場合は、本機も必ず大地に接続する必要があります。

▶アース工事には「電気工事士」の資格が必要です。アースに関するご不明点は、指定の Honda 販売店にご相談ください。

## 電気の取り出ししかた



1. 車両側の電源を ON にする。  
▶ 車両側の取扱説明書をご確認ください。
2. POWER スイッチを 2 秒間押す。  
▶ 開始/停止表示灯が点滅します。
3. スタート/ストップスイッチを押す。  
▶ 開始/停止表示灯が点滅から点灯に変わります。出力表示灯が点灯したら給電可能になります。

## ⚠電気の取り出ししかた

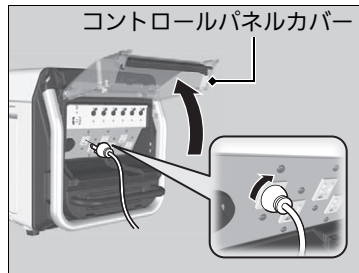
### ⚠ 注意

使用する電気機器の電源を ON にしたまま、本機のコンセントへ接続しないでください。

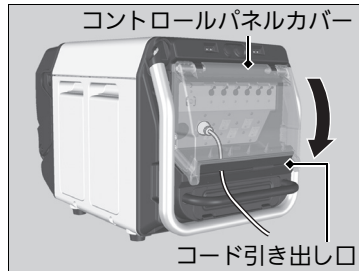
電気機器の電源を ON にしていると、コンセントへ接続した際、電気機器が急に作動し、傷害を受けるおそれがあります。

一部の自治体では、アイドリングストップに関する条例に抵触するおそれがあります。関係する自治体に確認したうえで、適切に使用してください。

接続する車両によっては、出力制限や、使用条件により、給電が停止することがあります。詳しくは指定の Honda 販売店にご相談ください。

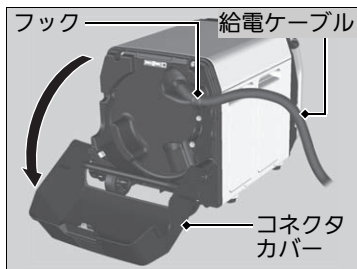
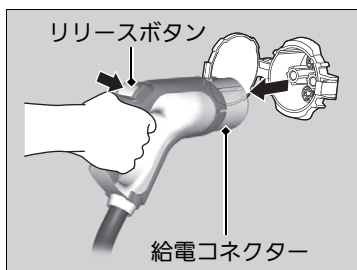
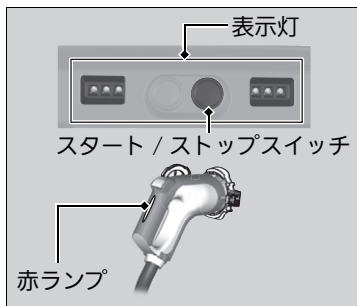


4. コントロールパネルカバーを持ち上げ、コンセントプラグを確実に差込む。  
▶コンセントに接続する前に電気機器のスイッチが切れていることを確認してください。

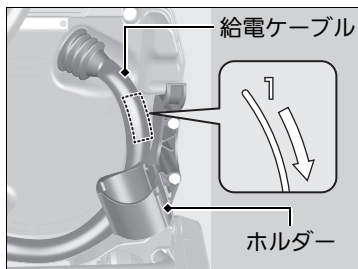


5. コントロールパネルカバーを閉じる。  
▶コントロールパネルカバーのコード引き出し口から、電気機器のプラグコードを引き出してください。
6. 電気機器のスイッチを入れる。

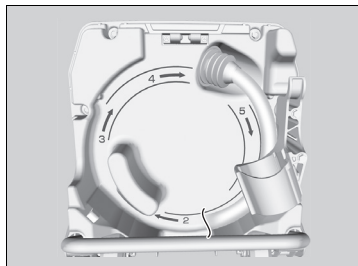
## 停止のしかた



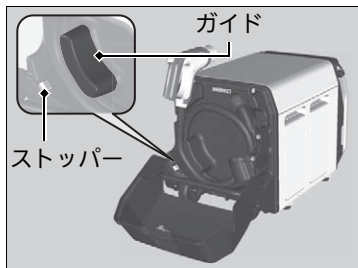
1. スタート / ストップスイッチを押す。  
▶約 4 秒後に給電コネクタの赤ランプ  
および本機の表示灯がすべて消灯しま  
す。
2. リリースボタンを押しながら、給電コネ  
クターを車両の給電口から外す。
3. コネクタカバーを開ける。
4. 給電ケーブルをフックから外す。



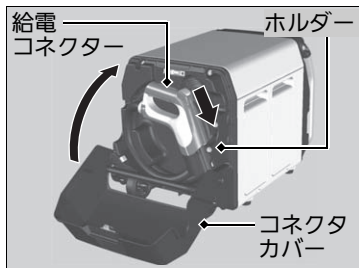
5. 給電ケーブルを矢印 1 の上に沿わせて、ホルダーの裏に押し込む。



6. 給電ケーブルを矢印2～5の順に沿わせて巻きつける。

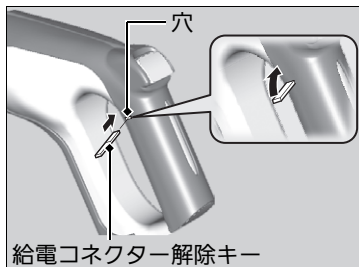


7. ガイドと白いストッパーの間にケーブルを重ねて押し込む。



8. 給電コネクタをホルダーの溝に合わせて確実に挿し込む。
9. コネクタカバーを閉じる。
10. 車両の電源を OFF にする。  
▶ 車両側の取扱説明書をご確認ください。

### 給電コネクタが外せなくなったときは



給電コネクタのリリースボタンを押しても車両から外せなくなった場合は、同梱の給電コネクタ解除キーを使用して給電コネクタを車両から外します。

1. 車両と本機の電源が OFF になっていることを確認する。
2. 給電コネクタ解除キーを給電コネクタの穴にまっすぐ差し込む。  
▶ 給電コネクタ解除キー中央の線まで差し込んでください。
3. 給電コネクタ解除キーの先端を上を押す。  
▶ 給電コネクタのロックが解除されません。
4. 給電コネクタを車両から外す。

### 給電コネクタが外せなくなったときは

給電をおこなうときは、必ず給電コネクタ解除キーを携帯してください。

給電コネクタ解除キーを使用した場合は、使用を中止し、指定の Honda 販売店にご相談ください。

## ■本機を保管する際は、以下の状態を避けてください

- 車内での保管
- 直射日光が当たる場所や、屋外での保管
- 高温多湿となる場所
- 塵やほこりがたまる場所での保管
- 本機の上に物をのせた状態での保管

## ■本機が汚れたとき

- 乾いた布で汚れをふき取ってください
  - ▶本機には水をかけないでください









お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル 0120-<sup>イイフレアイオ</sup>112010

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒351-0188 埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。